

エコアクション21

企画から提案、板金加工、塗装、組み立て、検査までの
社内一貫生産がニッシンの強み



環境経営レポート

対象範囲（全ての製品及びサービス）

活動期間（2024年8月～2025年7月）

発行：2025年 8月 1日



1. 目次

1. 目次	・・・P2
2. 会社概要	
・事業所名、所在地、主要取引、事業内容、主要製品、会社沿革、etc.	P 3-P 5
・経営理念、品質方針、環境経営方針	・・・P 6
・環境経営組織と権限、環境保全関係の責任者及び担当者連絡先	・・・P 7-P 8
3. 環境経営活動	
・環境経営目標	・・・P 9
・環境経営計画	・・・P10
・環境経営目標の実績	・・・P11
・環境経営計画の具体的な取組と結果とその評価	・・・P12
・5 7 期の提案制度、安全衛生・5 S活動の取組について	・・・P13-P16
・5 8 期(2025 年 8 月～2026 年 7 月)からの取組	・・・P16
4. 環境関連法規等の遵守状況及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無	・・・P17
5. 代表者による全体評価と見直しの結果	・・・P18

2. 会社概要

Technique of Nisshin



会社概要

称号	株式会社ニッシン
設立	昭和44年5月1日
所在地	埼玉県飯能市落合500-1 TEL 042-974-1161(代) / FAX 042-974-1705
資本金	1,000万円 売上 93,871.26 万円
代表者氏名	小泉 徹洋
社員数	58 名 (パート、研修生含む)
URL	http://www.nisshin-corp.com/
E-mail	ogawa@nisshin-corp.com n-harada@nisshin-corp.com

お問合せ先 営業部 小川、原田

取引銀行 飯能信用金庫 黒須支店
埼玉りそな銀行 飯能支店
日本政策金融公庫 さいたま支店
青梅信用金庫 飯能支店

グループ企業 株式会社エスイー
〒350-1327 埼玉県狭山市笹井3015
TEL 04-2953-2118 / FAX 04-2952-0025
<http://www.esuii.com/>



事業内容

機械設計、プログラム、精密板金加工、塗装、電装組立



主要製品

電気機器筐体及び部品、O A 機器、医療機器、ダストボックス等



主要取引先

■株式会社リコー ■リコーインダストリー株式会社
■リコーインダストリアルソリューションズ株式会社
■株式会社平山製作所 ■株式会社明光商会 ■センターピア株式会社
■有限会社小林製作所 ■日立化成株式会社 ■中村電気株式会社
■日本セイフティー株式会社 ■日昭電器株式会社 ■宝永電機株式会社
■三徳商事株式会社 ■株式会社イワキ ■株式会社ニッソー冷熱製作所
■株式会社モリタ東京製作所 ■ヨシトヨ工業株式会社 ■株式会社スタック
他数十社 (順不同)



会社沿革

昭和44年5月 東京都新宿区に資本金200万円にて設立
昭和45年2月 埼玉県飯能市に本社工場移転
昭和45年6月 資本金800万円に増資
昭和54年7月 業務拡張の為、板金組付工場増設
昭和54年11月 業務拡張の為、塗装工場増設
昭和55年2月 塗装工場に新ライン設備導入
昭和59年5月 NCT(PEGA)導入
昭和60年11月 レーザーマシン(LC2-644)導入
昭和61年1月 レーザーマシン(LC2-644-II)に入れ替え
平成3年6月 塗装前処理装置、排水処理装置設置及び塗装ライン全面改良
平成7年11月 資本金1000万円に増資
平成8年4月 医療用機器製造業許可認定取得(埼玉県)
平成8年5月 医療用機器のOEM生産開始
平成9年8月 渋谷光博 代表取締役社長就任
平成12年2月 NCT(ビプロスZ358NT)及びサイクルローダー導入
平成12年10月 粉体塗装設備導入
平成16年5月 複合機(アペリオIII)及びマニピレーター導入
平成17年8月 前処理設備改良更新
平成17年11月 埼玉県知事から経営革新計画(平成17年8月～平成22年7月)の承認を受ける
平成18年3月 環境マネジメントシステム"エコアクション21"認定取得
CNCタレットパンチプレス(EM2510NT)導入
平成20年8月 渋谷光博 代表取締役会長就任
手塚文紀 代表取締役社長就任
平成21年8月 化学物質管理システム"リコーCMS"認定取得
平成24年3月 高精度ベンディングマシン(HDS-1303NT)導入
平成24年5月 品質管理システム(ISO9001:2008)認定取得
平成26年7月 YAGレーザー溶接機(YLM-500PII)導入
平成27年11月 テーブルスポット溶接機(NK-03H100-10-KG-EZ高速溶接技術システム)導入
平成28年7月 高速・高精度サーボベンディングマシン(EG-6013)導入
平成28年9月 パリ取り機(AuDeBu1000型)導入



この社内一貫生産が
ニッシンの強み!

価格低減の
ご提案や
図面の作成

板金加工

検査



株式
会社

ニッシン

塗装

組み立て

板金加工と塗装業者が別の場合、製品の移動"横もち"が発生したり、製品に関わる業者が多くなる程、管理費が増えたり、リードタイムが長くなったり、品質に対する責任の所在があいまいになりがち。

社内一貫生産が可能なニッシンであれば、責任を持って、板金塗装の品質を保証し、

お客様のご要望に見合った価格・納期をご提案致します。



ニッシンの製品

当社は昭和44年創業以来、板金加工、塗装、組立の一貫生産を通して
常にお客様に満足して頂ける商品とサービスを提供し、社会に貢献する事を考えた「ものづくり」を行ってまいりました。
この間に構築された当社の技術、サービスを、時代の変化と共に更に進化させて、今後もお客様に満足して頂ける、
感動して頂ける、そして人や地球にやさしい「ものづくり」を目指して全社員一丸となって頑張っております。



製品部の写真もあわせてあります。写真のサイズは、高さ1400×幅1800×奥1600です。塗装後、検査、梱包し出荷します。
この際にも様々な検査、塗装、寸法の確認、部品を確認しておりますので、お見積りにお問い合わせ下さい。
また、工場見学も大歓迎です。

産業用機器のカバーの一部
(仕掛部品)

この後、製品に組み立て⇒検査⇒梱包の順に
作業が進みます。



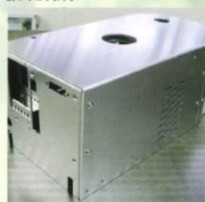
産業用機器のカバーの一部

R面もきれいに仕上げます。



産業用機器筐体

塗装がない品物(アルミ、ステンレス等)も
扱っております。



歯科医療用機器

特殊な形状でもきれいに仕上げます。



医療用殺菌キャビネット

板金加工、塗装、組立、完成まですべてニッシンで
行う事が出来ます。
(医療用機器製造業許可証取得済み)



製品のコーナー部の拡大写真

丸みのあるコーナーをこのようにきれいに仕上げ、
美しい塗装を施すことが出来ます。



課金機

この製品はニッシンで筐体の制作から組立、
動作確認検査、梱包、出荷までを一貫して
行っております。



アクセス

〒357-0047 埼玉県新城市落合500-1

■ 電車でお越しの場合

西武池袋線 落合駅南口より車で5分
(ご連絡を頂ければお迎えがあります)

■ お車で越しの場合

圏外道 北上15分・Cより約20分
圏内 1Cより約15分



経営理念

お客様の要望には最大限の力で応え、無駄を徹底排除した高効率体質を構築し、社会に貢献する経営を行う。

品質方針

「品質によってお客様の満足を得、品質によって社会に貢献する」を念頭に国際標準に配慮し、お客様により良い製品とサービスを提供する。
その為に下記1)～3)に重点を置き継続的改善を実施する。

- 1) お客様要求事項を満たし、加工技術の向上を図り、お客様に満足される製品を生産し、提供する。
- 2) 品質マネジメントシステムを構築し、継続的にマネジメントシステム、プロセスの改善を行う。
- 3) お客様のクレームは迅速に対応し、是正、予防処置を見直し、再発防止に努める。

環境経営方針

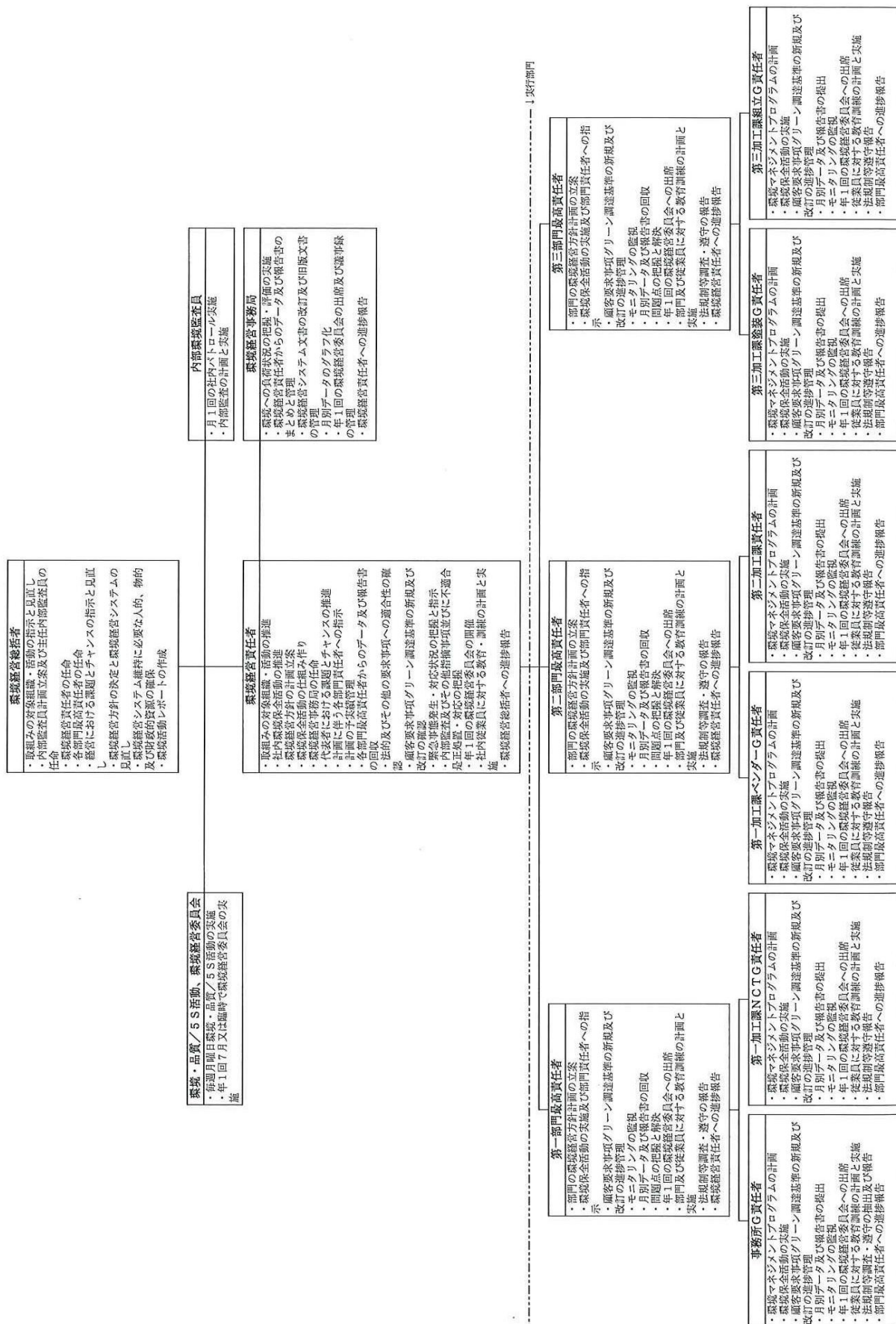
当社の環境マネジメントシステムの継続的な推進と改善は、板金加工、塗装、組立業務を通じて次に示す活動を優先事業活動の1つとして行います。

1. 関連法規、法令、規則、条例、協定及びその他合意事項を遵守する。
2. 二酸化炭素削減・廃棄物の削減・上水の削減・グリーン購入の推進に対して目的・目標を定め、継続的改善を実施する事により環境マネジメントシステムの向上を図る。
3. 分別の徹底、リサイクル品の積極的な採用により資源リサイクルの推進を図る。
4. 含有禁止物質及び有機溶剤の管理を徹底する。
5. 環境マネジメント活動に、“品質管理”と“5S活動”をリンクさせながら本システムの効率的改善を図る。
6. 社員一人ひとりがこの方針を理解し、スキルアップに努め、環境管理のスペシャリストになる。

2025年 8月 1日

生産本部長 **安達 知明**

株式会社ニッシン環境経営組織機能図



※ 各部門責任者は1年毎に担当者が変わります。

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者（環境経営責任者）：生津 節男

E-mail：namazu@nisshin-corp.com

担当者（環境経営事務局）：梅澤 重隆

E-mail：umezawa@nisshin-corp.com

電話番号：042-974-1161

FAX 番号：042-974-1705

3. 環境経営活動

環境経営目標

54期を基準とし55期、56期、57期の3年間で中期目標は次の通り。

NO.	環境負荷項目		単位	54期基準	55期計画	56期計画	57期計画	備 考
1	サ ー ビ ス	含有禁止物質	%	含有率 0%	客先要求事項により 含有率 0%	客先要求事項により 含有率 0%	客先要求事項により 含有率 0%	グリーン購入としても取り 上げる 客先要求事項に対する実績 数値
2	水 入 資 源 投	上水	m ³ (金額)	2,341 (¥1,018,835)	54期使用料から 目標1%減 2,317 (¥1,008,646)	54期使用料から 目標2%減 2,294 (¥998,458)	54期使用料から 目標3%減 2,270 (¥988,270)	
3	素 二 酸 化 炭	電力	kWh (kg-CO ₂)	592,049 (357,568) CO ₂ 排出係数 0.604, 0.401	54期排出量から 目標1%減 586,128 (353,992)	54期排出量から 目標2%減 580,208 (350,417)	54期排出量から 目標3%減 574,287 (346,841)	CO ₂ 削減の為のテーマ
4	廃 棄 物 排 出	一般廃棄物	kg (金額)	1,340 (¥26,800)	54期排出量から 目標1%減 1,326 (26,532)	54期排出量から 目標2%減 1,313 (26,264)	54期排出量から 目標3%減 1,299 (25,996)	
5		金属くず (異常発生品)	kg	2,950	54期排出量から 目標1%減 2,920	54期排出量から 目標2%減 2,891	54期排出量から 目標3%減 2,861	
6	グ リ ン 入 ル	事務用品	%	購入率92.3%	54期購入率から 購入率93%	54期購入率から 購入率94%	54期購入率から 購入率95%	

※1：上記の表は54期（2021/8～2022/7）55期（2022/8～2023/7）56期（2023/8～2024/7）
57期（2024/8～2025/7）

※2：有機溶剤、非正常時・緊急時については管理項目として掲げる。

※3：削減目標は基準年売上比率－各使用量・排出量比率とする。

※4：目標数値は参考値の為（ ）とする。

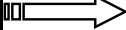
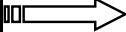
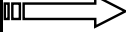
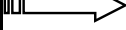
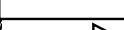
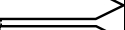
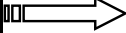
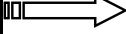
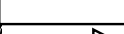
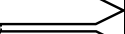
【全社テーマ】

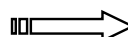
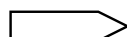
- 電力消費量(CO₂)の削減・・・54期金額を基準、57期末までに3%減
- 一般廃棄物の削減・・・54期金額を基準、57期末までに3%減
- 上水の削減・・・54期金額を基準、57期末までに3%減
- 含有禁止物質の管理・・・客先要求事項による徹底管理。
- 有機溶剤の管理・・・要求事項による徹底管理。
- グリーン購入の推進・・・54期購入率を基準、57期末までに購入率90%達成

【部門テーマ】

1. 事務所G
 - 電力消費量(CO₂)の削減・・・54期排出量を基準、57期末までに3%減
2. 第一加工課NCTG、第一加工課ベンダーG、第二加工課、第三加工課塗装G、第三加工課組立G
異常発生品スクラップの削減・・・54期排出量を基準、57期末までに3%減

環境経営活動計画書

NO	環境負荷項目	環境目的	目標行動内容／実施事項	目 標 値			担当部門／責任者	手順書
				計 画				
1	電力消費量(CO ₂)の削減	54期金額基準 57期末3%減	デマンド適正数値管理。 各照明休憩時間・不在時ON／OFFの徹底。 冷暖房温度管理と不在時ON／OFFの徹底。 OA機器等の省エネ設定。	55期末1% 	56期末2% 	57期末3% 	全部門	電力削減手順書 デマンド管理 (電力消費量(CO ₂)削減)
2	廃棄物の削減	54期金額基準 57期末3%減	一般ゴミ・産業廃棄物排出量を削減する為にリサイクルへの分別徹底。 紙類・段ボールのリサイクル化 鉄くず(鉄・ステン・アルミ)のリサイクル化	55期末1% 	56期末2% 	57期末3% 	全部門	廃棄物削減手順書
3	上水の削減	54期金額基準 57期末3%減	掃除等の水道水利用時は、バケツ等を使用しこまめな節水を徹底する。 前処理槽で水の使用は異常発生を抑えて最低限の使用で徹底させる。	55期末1% 	56期末2% 	57期末3% 	全部門	上水削減手順書
4	含有禁止物質の管理	客先要求事項による徹底管理	客先要求事項(RoHS2)対象管理物質の把握と調査、管理の徹底を行う。	55期末含有量0% 	56期末含有量0% 	57期末含有量0% 	全部門	含有禁止物質管理手順書
5	グリーン購入の推進	54期購入率基準 57期末95%達成	含有禁止物質の管理の徹底を行う。 事務用品等は積極的なエコ商品購入を推進する。	55期末93% 	56期末94% 	57期末95% 	全部門	グリーン調達手順書
6	異常発生品スクラップの削減	54期排出量基準 57期末3%減	ISO9001のQMS改善実施計画書に基づき、異常発生品スクラップの削減を行う。	55期末1% 	56期末2% 	57期末3% 	第一加工課 NCTG ベンダーG 第二加工課 第三加工課 塗装G 組立G	異常発生品スクラップ削減手順書

 実施試行、
  維持

※ 1 : 54期 (2021年 7月～2022年 7月)、55期 (2022年 7月～2023年 7月)、56期 (2023年 7月～2024年 7月)
 57期 (2024年 7月～2025年 7月)

上記計画書を基に以下の通り取組を行う。

電力(CO₂)の削減 : 各照明・冷暖房のこまめなON/OFFとの徹底。

一般廃棄物の削減 : 一般ゴミ・リサイクル分別の徹底。

上水の削減 : こまめな節水とい異常発生品を抑えるよう徹底する。

含有禁止物質の削減 : 客先要求事項(RoHS2)管理物質の把握と調査、管理の徹底。(グリーン購入の推進)

金属くず(異常発生品) : 異常発生品防止の為の作業性、スキルアップ向上を行う。

グリーン購入の推進 : 事務用品において積極的なエコ商品購入を推進する。

※ 有機溶剤は管理項目として掲げる。

環境経営目標の実績

５４期を基準とし、５５期、５６期、５７期の実績は次の通りである。

N0.	売上/環境負荷項目		I：投入 O：排出	単位	５４期	５５期	５６期	５７期	備 考
1	売上		-	円	売上目標 月：71,000,000 年：852,000,000	売上目標 月：60,000,000 年：720,000,000	売上目標 月：78,000,000 年：936,000,000	売上目標 月：78,000,000 年：936,000,000	基準期との 売上比率
					売上実績 月：59,209,133 年：710,509,600	売上実績 月：74,757,849 年：897,094,183 54期より 26.26%増	売上実績 月：88,313,436 年：1,059,761,227 54期より 49.16%増	売上実績 月：78,226,049 年：938,712,588 54期より 32.12%増	
2	サ製 品 ビ ス び	使用禁止 物質 (製品グリーン 購入)	I	%	含有量0% 要求達成	含有量0% 要求達成	含有量0% 要求達成	含有量0% 要求達成	グリーン購入 推進項目として客先要 求事項に対する実施
					要求事項による クレームは無し	要求事項による クレームは無し	要求事項による クレームは無し	要求事項による クレームは無し	
3	水 資 源 投 入	上水	I	m ³ (円)	2,341 (¥1,018,835)	削減目標1% 2,317 (¥1,008,646)	削減目標2% 2,294 (¥998,458)	削減目標3% 2,270 (¥988,270)	54期の使用量と売上比 率を基準に実施
						目標実績 2,432 (¥1,062,941) 21.93%減	目標実績 2,992 (¥1,338,910) 17.74%減	目標実績 2,677 (¥1,183,924) 17.77%減	
4	エ ネ ル ギ ー 使 用 量	電 力	I	kWh (円)	592,049 (¥14,022,370)	削減目標1% 586,128 (¥13,981,146)	削減目標2% 580,208 (¥13,839,823)	削減目標3% 574,287 (¥13,698,699)	54期の使用量と売上比 率を基準に実施
						目標実績 594,582 (¥18,484,661) 25.83%減	目標実績 665,773 (¥18,100,998) 20.07%減	目標実績 607,164 (¥18,112,257) 29.57%減	
			O	kg-CO ₂ 排出係数 0.604 0.408 ※3	排出係数 357,568	削減目標1% 353,992	削減目標2% 350,417	削減目標3% 346,841	54期の排出量と売上比 率を基準にCO ₂ 削減の 実施
		全エネルギー CO ₂ 排出総量	O	kg-CO ₂	620,695	618,199	668,342	655,657	
5	廃 棄 物 排 出	一般廃棄物 (可燃ゴミ)	O	kg	1,340 (¥26,800)	削減目標1% 1,326 (¥26,532)	削減目標2% 1,313 (¥26,264)	削減目標3% 1,299 (¥25,996)	54期の排出量と売上比 率を基準に実施
					目標実績 1,090 (¥21,800) 44.92%減	目標実績 1,280 (¥25,600) 53.63%減	目標実績 1,540 (¥30,800) 17.19%減		
6		金属くず (異常発 生品)	O	kg	2,950 (¥171,193)	削減目標1% 2,920 (¥17,021)	削減目標2% 2,891 (¥16,849)	削減目標3% 2,861 (¥16,677)	54期の排出量と売上比 率を基準に実施
					目標実績 360 (¥18,309) 114.06%減	目標実績 1,510 (¥77,120) 97.97%減	目標実績 1,160 (¥47,536) 92.80%減		
7	グ 購 リ 入 ン	事務用品	I	%	購入率 92.3%	達成目標93%	達成目標94%	達成目標95%	54期の購入率を基準に 実施
					目標実績 93.8% 購入率達成	目標実績 94.5% 購入率達成	目標実績 95.2% 購入率達成		

※１：上記の表は54期（2021/8～2022/7）55期（2022/8～2023/7）56期（2023/8～2024/7）

57期（2024/8～2025/7）

※２：目標値、実績値は基準期をベースとし、売上との比率にて計算しております。

※３：排出係数は、令和５年度実績（株）関電エネルギーソリューション、東京電力(株)の実排出係数を使用しています。

環境経営計画の具体的な取組と結果とその評価

5 7 期の具体的な取組と結果とその評価については以下の通りである。

環境目標	取組項目	単位	結果(基準期との比較)				55期評価と57期からの取組内容		
			基準期 (54期)	55期	56期	57期	評価	評価に対する コメント	継続有無 取組内容
売上	—	%	54期(基準期)との比較				—	—	—
			710,509,600	897,094,183	1,059,761,227	938,712,588	—	—	—
			—	26.26%増	49.16%増	32.12%増	—	—	—
客先要求事項に対し含有禁止物質の管理の徹底を行う。 (グリーン購入)	客先要求事項(RoHS2)対象管理物質の把握と調査、管理の徹底を行う。	%	含有率 0%	含有率 0%	含有率 0%	含有率 0%	○	客先要求事項に対し迅速に把握し、含有禁止物質に対する調査、管理等を徹底し、かつ客先からのクレームも無いことから目標達成致しました。	継続有 同等管理 で継続
			含有禁止物質による客先クレーム状況						
			無						
上水の使用量を54期を基準として57期末までに3%削減する。	掃除等の水道水利用時は、バケツ等を使用しこまめな節水を徹底する。 前処理槽で水の使用は異常発生を抑えて最低限の使用で徹底させる。	m ³	2,341	2,432	2,992	2,677	○	54期に比べて57期は売上が32.12%増に対し17.77%減となった。節水に対する意識付けと、生産性向上により達成が出来た。	継続有 同等管理 で継続
		金額	1,018,835	1,062,941	1,338,910	1,183,924			
		使用量と売上比率を54期(基準期)からの比較							
電力消費量(CO ₂)を54期を基準として57期末までに3%削減する。	デマンド適正数値管理。 各照明休憩時間・不在時ON／OFFの徹底。 冷暖房温度管理と不在時ON／OFFの徹底。 OA機器等の省エネ設定。	kWh (kg-CO ₂)	592,049 (357,568)	594,582 (359,098)	665,773 (318,002)	607,164 (332,981)	○	54期に比べて57期は売上が32.12%増に対し、電力使用量29.57%減(kg-CO ₂ :38.99%減)となった。電気代が上っている中でこまめな節電の徹底により二酸化炭素共に達成が出来た。	継続有 同等管理 で継続
		金額	14,122,370	18,484,661	18,100,998	18,112,257			
		排出量と売上比率を54期(基準期)からの比較							
一般廃棄物排出量を54期を基準として57期末までに3%削減する。	一般ゴミ・産業廃棄物排出量を削減する為にリサイクルへの分別徹底。 紙類・段ボールのリサイクル化 鉄くず(鉄・ステン・アルミ)のリサイクル化	kg	1,340	1,090	1,280	1,540	○	54期に比べて57期は売上が32.12%増に対し、17.19%減となった。昨年同様出来る限り購入品等の在庫削減の効果により達成が出来た。	継続有 同等管理 で継続
		金額	26,800	21,800	25,600	30,800			
		排出量と売上比率を54期(基準期)からの比較							
異常発生品スクラップの排出量を54期を基準として57期末までに3%削減する。	ISO9001のQMS改善実施計画書に基づき、異常発生品スクラップの削減を行う。	kg	2,950	360	1,510	1,160	○	54期に比べて57期は売上が32.12%増に対し、92.80%減となった。昨年同様、各部署QC活動への取組みが向上していた。	継続有 同等管理 で継続
		金額	171,193	18,309	77,120	47,536			
		排出量と売上比率を54期(基準期)からの比較							
文房具等のリサイクル材使用製品を54期を基準とし、57期末までに95%達成にする。	含有禁止物質の管理の徹底を行う。 事務用品等は積極的なエコ商品購入を推進する。	%	92.3%	93.8%	94.5%	95.2%	○	54期基準より57期は95.2%達成出来た。引き続きエコ商品の選定と購入を行う。	継続有 同等管理 で継続
		54期(基準期)からの達成状況							
		達成							

※上記の表は54期(2021/8~2022/7) 55期(2022/8~2023/7) 56期(2023/8~2024/7)

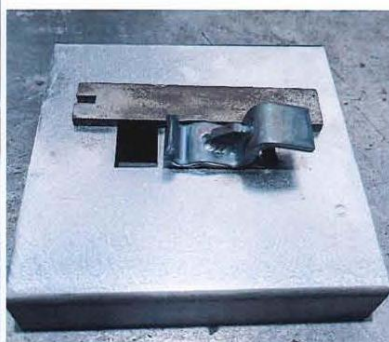
5 6 期の提案制度、5 S ・安全衛生活動の取組については以下の通りである。

・提案制度活動の取組

①

改善のテーマ 全溶接治具改善	
改善前（BEFORE）	改善後（AFTER）
フックのリブを全周溶接するがフックの板厚が厚い為、そのままは出来なくプレートを利用して。溶接方向を変える度プレートもわざわざ移動しながら溶接を行っていた。プレートにも熱が伝わり手袋だけで持つのは容易ではない。	やりやすさを重点にAの字の形にガバリを作成。
改善の効果	Aの字にして製品を取り囲むようなガバリにすることで、展開をする無駄な段取りを省くことができた。またガバリを固定することで極力ぐらつきを無くし安定性が生まれた。 全周なので6面分を展開していた。削減時間が1面5秒として1個(6面)で30秒削減となった。 48(個/月6セット) × 30(削減秒数) = → 削減予測算出時間（月単位）： 24分の削減

BEFORE



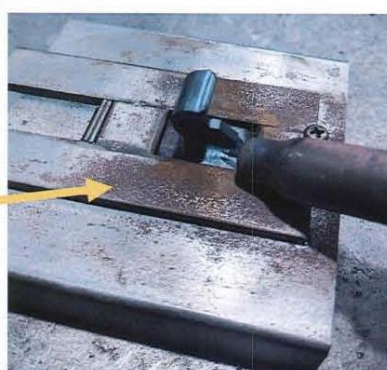
板厚がある為プレートで
かさ上げ対応



AFTER

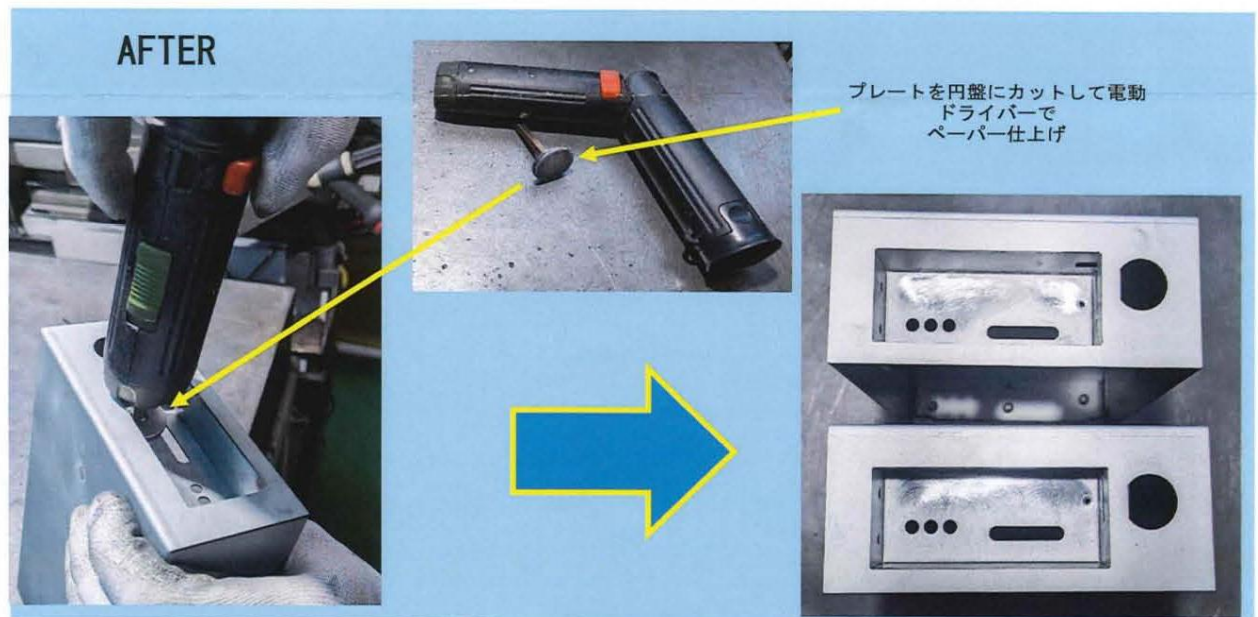


追加でガバリ



②

改善のテーマ	
アルゴン溶接痕のペーパー仕上改善	
改善前（BEFORE）	改善後（AFTER）
下記の写真のように窓口中に溶接跡があり、端材にペーパーを付けて手作業で仕上げ（溶接跡の盛り上がり）を行っていた。	電動ドライバーの先端、六角レンチを細工しペーパーを付けて使用。
改善の効果	当初は横方向の目になるように仕上げていたが、塗装後にその跡が出てしまい円を描くように仕上げるように。1ロット50～100台流れるが跡を消すのに地味に大変で手の負担も大きく時間を要していた。電動ドライバー作業になったことで今までの負担が大きく改善された。円盤状で程よく押し当てられる為、溶接跡がすんなり消える。1台に要す時間、前は50秒かかっていた所を15秒までに。 35(削減秒数) × 100 = 3500(秒) → 削減予測算出時間(月単位) : 58.3分の削減



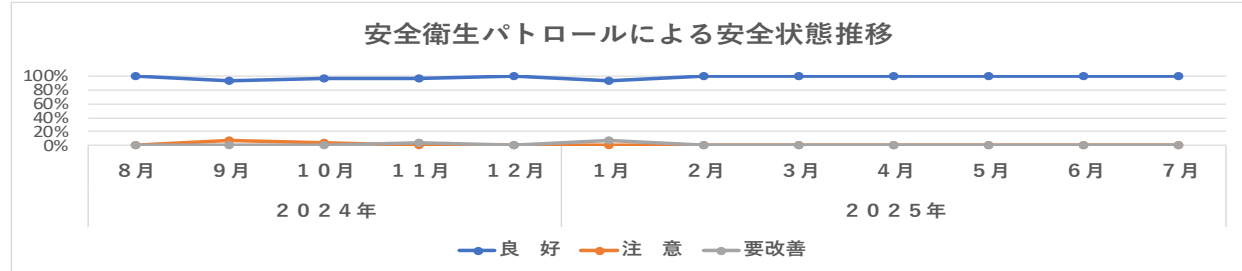
③

改善のテーマ	
安全を配慮しつつ効率も大幅UP！	
改善前（BEFORE）	改善後（AFTER）
他とは違って材料が薄く難易度が高く溶接箇所もシビアで見えにくく、目や肩等の疲労が半端なく溶接面を付けていけない。 ↓ 裸眼で作業し目はつぶっていたものの目が充血し溶接焼け…	溶接面の代わりをいろいろ試し、遮光入りでクリアに見える眼鏡を使用。
改善の効果	タングステンの先端(赤丸印)を目視するのに安全を配慮しつつ効率も上げる為に、溶接面から遮光眼鏡まで試みた結果、作業に適したものを厳選。他の事に気が散る事なく集中することができている。 1台100秒削減。1ロット200台。
	200 × 100 = 20000秒 削減予測算出時間（月単位）： 5.556時間の削減



・安全衛生活動と5S活動の取組

状態	2024年					2025年						
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
良好	100%	92%	96%	96%	100%	92%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
注意	0%	8%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
要改善	0%	0%	0%	4%	0%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	0%



■ 2024年8月～2025年7月までのまとめ

◎改善事項として、第二工場の徹底的な5Sを項目として取り上げた。

- ・現状把握を行い、要る物・要らない物の分別
- ・棚のレイアウト配置を決定
- ・定位置化のルールを決定
- ・必要な物に関して最大数量のルール化を決定

◎5Sの期限として、2025年7月までに改善事項内容を終了とする。

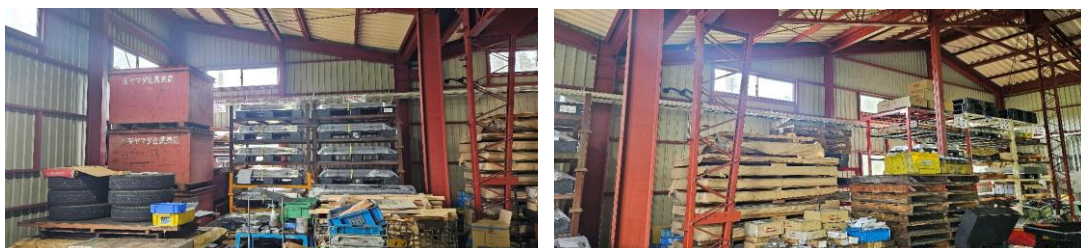
★改善前の状態

- ・奥に置いてある材料や製品が取り出せない状態であった。
- ・抜き後の端材や、現在使用していない物等と一緒に置かれていた。



★改善後の状態

- ・全ての棚に奥に配置し、材料・製品の定位置化の改善を行った。
- ・両方の写真の手前に置いて有る物は全て不要な物で、今後処分をする。



58期(2025年8月～2026年7月)からの取組

- 電力(CO₂)の削減 : 各照明・冷暖房のこまめなON/OFFとの徹底。
- 一般廃棄物の削減 : 一般ゴミ・リサイクル分別の徹底。
- 上水の削減 : こまめな節水とい異常発生品を抑えるよう徹底する。
- 含有禁止物質の削減 : 客先要求事項(RoHS2)管理物質の把握と調査、管理の徹底。(グリーン購入の推進)
- 金属くず(異常発生品) : 異常発生品防止の為の作業性、スキルアップ向上を行う。
- グリーン購入の推進 : 事務用品において積極的なエコ商品購入を推進する。
- ※有機溶剤は管理項目として掲げる。

4. 環境関連法規等の遵守状況及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規項目			遵守状況	違反、訴訟、苦情
法規制違反の有無	公害に関する法律	下水道法	○	2025年7月末時点で無し
		騒音規制法	○	2025年7月末時点で無し
		振動規制法	○	2025年7月末時点で無し
		悪臭防止法	○	2025年7月末時点で無し
	大気汚染に関する法律	フロン排出抑制法	○	2025年7月末時点で無し
	廃棄物・リサイクルに関する法律	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○	2025年7月末時点で無し
		プラスチック資源循環に関する法律	○	2025年7月末時点で無し
		使用済自動車の再資源化等に関する法律	○	2025年7月末時点で無し
		家電リサイクル法	○	2025年7月末時点で無し
	化学物質に関する法律	消防法	○	2025年7月末時点で無し
		高圧ガス保安法	○	2025年7月末時点で無し
	その他の法律	労働安全衛生法	○	2025年7月末時点で無し
		特定特殊自動車排出ガス規制法(オフロード法)	○	2025年7月末時点で無し
		働き方改革関連法	○	2025年7月末時点で無し
		粉塵障害防止規則	○	2025年7月末時点で無し
	条例	埼玉県生活環境保全条例	○	2025年7月末時点で無し
		飯能市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	○	2025年7月末時点で無し
		飯能市下水道条例	○	2025年7月末時点で無し
	顧客との取りまとめ	リコググリーン調達ガイドライン	○	2025年7月末時点で無し
訴訟の有無	環境関連訴訟		○	2025年7月末時点で無し

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟は、ありません。
また、行政等から違反等の指摘及び外部からの苦情も過去ありません。

5. 代表者による全体評価と見直しの結果

経営者による評価及び見直し結果報告書

見直し案	見直し案作成日	2025年 7月31日 (木)	作成者	生津 節男
	見直し対象期間	2024年 8月 1日 ~ 2025年 6月30日		
	見直し実施時期	2025年 7月28日 (<u>定期</u> , 臨時)		
	出席者	安達知明、生津節男、梅澤重隆		
総括者（代表者）の評価と指示	提出資料	・エコアクション21－2017年版 ・リスク管理一覧表（2024年 8月 1日）様式第1号 ・環境経営方針（2024年 8月 1日制定） ・株式会社ニッシン環境経営組織図（2024年 8月 1日制定）図－1－1 ・環境経営目標一覧表（2024年 8月 1日制定）様式第5号 ・環境経営活動計画書の実施状況（2024年 8月～2025年 7月分実績評価済）様式第6号 ・環境経営委員会（2025年 7月28日開催）様式第7号 ・環境経営目標の実績集計と達成度算出（2024年8月～2025年6月分）		
	見直し評価日	2025年 7月28日 (月)	総括者	生津 節男
	見直し評価結果項目	内 容		評 価
	①リスク管理	・変更無し		○
	②環境経営方針	・日付のみ改訂		○
	③環境経営組織	・58期から部門責任者の改訂有り		○
	④環境経営目標	・54期基準に対し、57期（基準期より3年目）の売上は約32.12%増であった。主に主要取引先の売り上げが好調であった。 又、経費削減・在庫削減活動にも取り組みを行った。 その結果各テーマにおいて目標3%減に対し、全て達成となった。 電力・・・29.57%減 廃棄物・・・17.19%減 上水・・・17.77%減 異常発生品・・・92.80%減 二酸化炭素(電力)・・・38.99%減(二酸化炭素全体では26.49%減) 58期も引き続き売上確保と、無駄な経費・在庫、又、異常発生品を出さないよう5S・品質管理をリンクさせながら今以上に活動を行う。		○
	⑤環境経営活動計画	全ての計画に関しては活動を行っている。		○
	⑥EMS	・来期(58期)から、57期を基準に各テーマ3%減を目標にする。引き続きISO9001の運用を上手く利用しつつ、作業の効率化を行い、生産性向上に向けた計画をしっかり立てて頂きたい。		○
	⑦総括者の指示	・58期（2025年8月1日～2026年7月）も、引き続き無駄な経費特に電力に関して徹底的に節電対策を行い、在庫削減活動や無駄な購入品を抑え投入・排出を減らしていきたい。		○
改訂指示	改訂内容	・環境方針（日付）の改訂 ・環境経営組織図（部門責任者）の改訂 ・各部門の目的目標・活動計画・実施手順書等の改訂		
	環境管理委員会	審 議 日	2025年 7月28日 (月)	
		審議内容	各テーマ削減達成状況と58期(2025年8月～2026年7月)の活動について	
		審議結果	全員一致で2025年8月1日より実施する事に決定。	

注1：評価は良＝○、改善を要するが結果は良△、再検討×